http://www.shiminkatudo-hachioji.jp/gorakuren/

第１８８号
発行日　平成１９年３月２４日
発行所　八王子の碁を楽しむ活きいき連合
住　所　南大沢５－９－１０－６０１
ＴＥＬ（０４２）６７５－１５８１
発行人　竹　島　正　義
編集者　三　浦　和　夫

碁楽連の目的

碁楽連は、八王子市内に居住する高年者が、囲碁を通じて親睦を図り、かつ、健康を維持できるようにその機会を提供し、高年者の福祉の増進に寄与することを目的とする。

（続）新年度へ向けての準備進む

２月１８日に行われたタイトル大会、さすがに地区のタイトルを獲得した人ばかりですので、熱戦の連続でした。昨年度の名人位を獲得し、今年度も碁楽連大会で優勝した眞田誠次７段（浅川同好会）が８段への昇格成るかに関心が高かったのですが、残念ながら名人位の獲得はならず、したがって、８段の誕生とはなりませんでした。各タイトルの獲得者は別項のとおりです。

ところで、前号でお伝えした「活きいき地区大会」の非会員の会費と「地区団体対抗」の対戦方法についてですが、各寿同好会のアンケートをとった結果、概ね次のとおりでした。

非会員の参加費の値上げは、賛成７、反対３、どちらでも１でした。値上げ後の会費は、９００円が３、８００円と１，０００円が各２という結果でした（会員の参加費は、７００円で据え置きが前提）。次に、団体対抗が今年度から石川同好会の参加により１１チームとなりますので、毎回１チームがお休みとなります。そこで、対戦方法を尋ねたところ、会員数の少ない５同好会は１回ずつお休みして年間出場数を４回とする方法に７同好会が賛成でした。この場合順位は勝率によって決めることになります。また、会員数の少ない同好会を合併して１チームにすることは、対象となる同好会の賛成が得られませんでした。　以上の結果を踏まえて、理事会として別項（２月の理事会決定事項）のような案を作成し、総会に諮る予定です。

さて、昨年４月から会報のタイトルを変更するとともに、ご家族を含めて大勢のかたがたに読んでいただけるように努力してきたつもりですが、いかがだったでしょうか？４月から半数が新役員に交代します。１年間ご愛読いただいたことに厚くお礼申し上げます。（会長　竹島）

◎　編集者が交代しました

平成１７年１２月から１年３ヶ月にわたり会報編集に当たってこられた渡辺己三男氏は、今月で理事としての任期が終わりますので、編集者が交代しました。今月からは、三浦和夫理事が編集を担当しますので、よろしくお願いします。前任の渡辺理事は、会員名簿の正確な編集、会員の昇格の管理などに優れた力を発揮していただきました。また、会報の表紙の写真はほとんど同氏の撮影によるものです。さまざまな功績に対して厚くお礼申し上げます。

◎　研修部会員の募集

東淺川、南大沢ともに研修部会員（特に級位者）を募集しております。毎週の例会の対局成績により、また、年２回の大会で優勝すれば、昇段昇級のチャンスがあります。希望の方は、下記にお申し込みください。いずれも例会は、毎週土曜日午後、指導員の解説があるほか、対局指導を受けられます。会費は、月２００円（6 ヶ月分前納）です。ただし、南大沢は、級位者だけが対象です。

記

東淺川研修部　事務長　端山昌夫　　℡　663-8753
南大沢研修部　事務長　筒井　博　　℡　677-1981

第17回活きいき囲碁恩方大会のご案内

日　　時	平成１９年５月１３日（日）　受付午前 9 時 00 分～9 時 30 分
会　　場	恩方市民センター（西寺方町260-4　　電話 652-3333）
主　　催	恩方寿囲碁同好会（会長　山崎　稔　　電話 651-1212）
後　　援	八王子市、八王子市教育委員会
参加資格	八王子市に在住している 60 歳以上で 10 級以上の囲碁愛好者
参 加 費	７００円（弁当代を含む）
参 加 賞	大会に参加された方には参加賞を差し上げます。
競技方法	２ないし３のクラス別に行い入賞者に賞品を進呈します。
申 込 先	会長　山崎　稔　　電話 651-1212
注意事項	①自家用車でのご来場はなるべくご遠慮ください。 ②失格にならないように定刻においでください。

第14回　タイトル囲碁大会の結果

平成１９年２月１８日開催

参加者数５９名（淺川 6、恩方 6、元八王子 6、中野 6、大和田 4、石川 5、由井５、台町 6、由木 4、北野 5、長房６）

八王子名人（参加者 20 名）

優勝　中村順二 3 段/石川→4 段に昇格　　準優勝　吉田征也 6 段/元八王子

八王子王座（参加者 19 名）

優勝　渕上和男 7 段/恩方　　準優勝　佐々木胖充 3 段/由井

八王子天狗（参加者 20 名）

優勝　吉田信夫 5 段/台町→6 段に昇格　　準優勝　斉藤　健 4 段/恩方

研修部 囲碁大会、研修会の結果

平成１８年度後期　東淺川研修会

氏　名	出席日数	勝数	負数	勝率%	昇　格
市川昭二４段/由井	13	29	3	90.6	５段に昇段
中川寿夫１級/大和田	15	32	13	71.1	初段に昇段
藤本淳雄２級/元八王子	13	32	15	68.1	１級に昇級
石田　誠２級/石川	14	34	11	75.6	１級に昇級
赤松　勝３級/台町	14	43	12	78.2	２級に昇級

第３１回　東淺川研修部大会

平成１９年３月１７日開催

参加者数７１名（寿同好会員６３、無所属８）

Ａグループ（３段以段上・参加者２７名）

優勝　市川昭二５段/由井　６段に昇格
準優勝　中村幸男５段/長房
第３位　藤森立喜４段/元八王子

Ｂグループ（２段～初段・参加者２２名）

優勝　倉田　三２段/台町　３段に昇格
準優勝　宮林国夫２段/恩方
第３位　青木岩三初段/恩方

Ｃグループ（１級～３級・参加者１３名）

優勝　大里　宏１級/大和田　初段に昇格
準優勝　田野倉英治１級/無所属
第３位　石田　豊２級/元八王子

Ｄグループ（３級～７級・参加者９名）

優勝　相川真佐子７級/無所属
準優勝　伊藤保江３級/大和田
第３位　岡田年弘３級/元八王子

Ｄグループは参加者 12 名未満のため昇格者なし

平成１８年度　南大沢研修会

氏　名	出席日数	勝数	負数	勝率%	昇　格
長谷場純親１級/無所属	28	41	18	69.5	初段に昇段
筒井　博２級/無所属	31	46	16	74.2	１級に昇級
山之口寛４級/無所属	26	45	21	68.2	３級に昇級
加藤雅康５級/無所属	27	52	22	70.3	４級に昇級

第21回　南大沢研修部大会

平成１９年３月１７日開催

参加者数１６名（寿同好会員４、無所属１２）

優勝　長野宏俊４級/無所属　３級に昇格
準優勝　鳥井義一２級/無所属　第３位　坪内和雄１級/無所属

平成１８年度昇格者

平成１８年度（18.4.～19.3.） 昇格者氏名・昇格後の段級位・所属				昇格を決めた大会等						
連番	氏　名	同好会	研修部	活きいき囲碁	団体対抗	碁楽連大会	タイトル大会	研)研修会	研)大会	備考
1	和田育造３段	淺川	東淺川	○						
2	永坂道雄３段	淺川	東淺川					○		
3	白川博之２段	淺川	東淺川					○		
4	新倉幹夫６段	恩方		○	○					2回昇格
5	五十棲健一５段	恩方			○	○				2回昇格
6	荒井　正４段	恩方			○					
7	郡司弘一６段	元八王子			○					
8	藤本淳雄１級	元八王子	東淺川					○		
9	浜中訓行２段	中野		○						
10	秀島照次４段	大和田	東淺川						○	
11	大里　宏初段	大和田	東淺川					○	○	2回昇格
12	中川寿夫初段	大和田	東淺川					○		
13	伊藤保江３級	大和田	東淺川						○	
14	山川睦夫３級	大和田		○						
15	細田正光３級	大和田		○						
16	森下武司５段	石川		○						
17	中村順二４段	石川		○			○			2回昇格
18	大山芳雄２段	石川	東淺川					○		
19	市村光彦初段	石川				○				
20	高橋敏彦１級	石川				○				
21	石田　誠１級	石川	東淺川					○○		2回昇格
22	大藪成人７段	由井				○				
23	市川昭二６段	由井	東淺川					○	○	2回昇格
24	下田政男５段	由井		○						
25	二見武夫４段	由井		○		○				2回昇格
26	渡辺己三男３段	由井			○					
27	小関眞満２段	由井				○				
28	齋藤隆男２段	由井		○						
29	岸本　哲１級	由井	東淺川						○	
30	吉田信夫６段	台町					○			
31	市川公雄４段	台町		○						
32	倉田　三３段	台町	東淺川	○					○	2回昇格
33	小林　實３段	台町		○○						2回昇格
34	下山正夫２段	台町		○						
35	赤松　勝２級	台町	東淺川					○		
36	岡部隆男６段	由木		○						
37	布施裕輔４段	由木		○						
38	奥山武平３段	由木				○				
39	古賀照也６段	北野		○						
40	遠藤治夫６段	北野		○○						2回昇格
41	藤崎　稔６段	北野				○				
42	若林近生５段	北野		○						
43	高野道行５段	北野		○						
44	柳井光夫４段	北野		○						
45	波多野博４段	北野		○						
46	笠原昭治３段	北野	東淺川						○	
47	若林松吉３段	北野		○						
48	佐藤吉男２段	北野	東淺川	○						
49	吹上吉輝２段	北野	東淺川	○						
50	森久保啓二３段	長房		○		○				2回昇格
51	長谷場純親初段	無所属	南大沢					○	○	2回昇格
52	筒井　博１級	無所属	南大沢					○		
53	山之口寛３級	無所属	南大沢					○		
54	長野宏俊３級	無所属	南大沢						○	
55	加藤雅康４級	無所属	南大沢					○		
56	松本庸夫１級	無所属		○						
57	加藤　司３段	無所属		○						
計（基礎人数57名、延べ69名）				30	5	9	2	14	9	

地区同好会めぐり（第１１回・長房）

長房寿囲碁同好会の会員は、最年長、小西６段（大正６年生まれ）を筆頭に２９名、残念ですが女性会員はゼロです。段位者が７５％ほどですが、級位者と女性の入会を願っています。

会費は、月額３００円（当初は２００円でしたが、会場費の増加負担などに充当するため増額）で、徴収方法は便宜上半年分一括です。

同好会の発足は、旧碁老連誕生と同時で、歩みをともにし現在に至っております。この年月ですから多少の進退は当然ですが、目下、会員数は増加しております。ただ、残念なことには、冒頭記した碁楽連長老格の小西６段が体調不良により欠席勝ちなこと、役員として大変活躍して下さった小川７段が急逝されたことなどはさびしい限りです。

南浅川で遊ぶ鴨・長房町にて

会場は、長房ふれあい館の和室が主で、備品の碁盤・石１０セットともども使用させていただいております。ただ、他の同好会はおおむね市民センターが会場のようですが、ふれあい館は、東京都の管理で、現在は、市の社会福祉協議会が指定されて管理に当たっているそうです。実際の使用については市民センターとほぼ同じです。

例会は、ほとんど毎週日曜日の午後行っています。また、碁楽連行事の前・後期名人戦間の何日かの空白日を「長房戦」と銘打ってミニ大会を行っています。漠然と打つよりも多少でも勝負に対する気構えが違うのではないかという見地からです。

会場周辺について少し触れてみます。当地域は、日頃市内西端ぐらいの大雑把な感覚でしたが、他の同好会との交流などを経ますと、若干修正しなければ、と思いました。まだ、淺川、恩方などが西にあるのですから・・・。とはいえ、市全体から見れば西部であることは間違いではなく、まじかに高尾山を眺められます。高尾山といえば、もうひとつ外せないものがあります。多摩陵です。長房町の一部に陵の領域もあり、「隣組」といえるかもしれません。現に会場から１０分も歩けば入口に達します。かっては、大正天皇の多摩陵１陵でしたが、貞明皇后の多摩東陵、昭和天皇の武蔵野陵、香淳皇后の武蔵野東陵が竣工され、現在、領域には４陵があります。白い玉砂利の参道の両側には北山杉が植えられ、荘厳な雰囲気が漂います。団体対抗や活きいき大会など当地にこられた折にでも、時間が許せば歩をめぐらせて見られるのもいかがかと思います（参拝時間は、午前９時３０分から午後４時まで。参入は、午後３時３０分まで）。

以上、当同好会の様子を雑然と記してみましたが、この環境の中、会員一同、年を忘れて和気藹々、そして半目でも上を目指して励んでいます。

市川 隆一 会長

塚原 和利 副会長

投稿

雑　感

碁楽連理事　山 崎 修 司

古稀を過ぎ、一日一日の過ぎるのが早く感ずると共に、世の中の出来事で、腹立たしくなる事も多いこの頃である。退職前は、仕事のことが頭から離れず、余り気にならなかったことが最近は腹立たしく感ずる。

電車の中で、若い人が男女を問わず優先座席に座り、お歳よりが立っているのに、全く意に介せず、知らん顔。せめて寝た振りでもしてほしい！　同じく電車の中。最近は半分以上の人が携帯電話で、メールかゲーム、調べごと等をしている。然し中には大声で話をしている人が時々いる。車内アナウンスで、“携帯電話は、電源を切るか、マナーモードにして下さい”と言っているにもかかわらず、長々と、其れも、どうでも良いことを。その神経がわからない！

道路上で、其れも交差点で、携帯電話を片手に話しながら片手でハンドルを切るドライバーを見かける。信号は見ていると思うが、歩行者を見ているかは疑問である。車が凶器になることを知らないのか？　事故を起こしてからでは遅すぎる！　同じく路上で。ゴミ袋に入れたゴミが指定場所以外に捨ててある。八王子市がゴミの有料分別回収を始めてから３年ほどだが、指定の青と黄以外の袋である。　全く公徳心の欠如！　更に、幼児をほったらかしにして、井戸端会議をしている母親。何故、会議に適した安全な場所を選ばないのかと言いたい。

このように、マナーに欠けることは、まだまだ沢山目に付くが、日本ばかりでない。

昨年、３０年振りに中国を訪れた。三国志の都、成都を中心に、チベット族が多く住む九塞溝、黄龍に行って来た。

最近、世界遺産に指定された、３千～４千Mの山の中にある美しい湖沼群が渓谷に沿って流れ、無数の滝があり、神秘の大自然である。

国慶節で休日が続き、中国各省から多くの観光客が来ていて混雑していた。　先ず、バス停で並んでいても、バスが来ると、ワーッと割り込む、終戦後の日本の列車を思い出す。場所をかまわず、大声で話をする（中国語は判らないので雑音）、いたる所でツバを吐く等、全く興醒めであった。更に、道端の土産物屋で品物を見ているのに、その前を何も言わずに通りすぎた若者がいたのには、驚きより呆れてしまった。このような状態の中で北京

オリンピックと、其の後、上海万博を開催する。ヨーロッパを始め世界各国からの選手と観光客を迎えるのであるが、彼らはどのように感じるか？同じ東洋人、隣国人として気になる。　開催に向けて、マニュアルを作り、いろいろ改善に努力しているが、５千年以上の歴史を有する大国が其の国民性を変える事が出来るか？甚だ疑問である。開催期間中に行って検証してみたいものだ。

次に以前から気になっていることがある。高速道路、整備新幹線、ダイエットのうそ、振り込め詐欺、等々色々あるが、電信柱も其の一つである。
ヨーロッパを旅して電柱にお目にかかった事が無い。余り田舎に行ってないので判らないが、少なくとも都市部では、お目にかからない。

八王子を散歩すると、道路に沿って至る所に電柱があり、電線が各家に引き込まれている。新たに整備された道路にも、街路樹と共に、コンクリートの電柱が建てられている。
電柱は、街の美観を破壊している。　東京の皇居前と比較すると一目瞭然だ。日本の主要都市の一部は電線を地下に埋設し始めているが、遅々として進まない。欧米では、電柱退治に非常な努力をしている。ドイツは数十年かけて計画的に、全土の９０数%を地中線に変えたし、ニューヨーク州は、１８８４年、人口５０万以上の都市に電線、電話線などの地中化を義務づけた法律を制定している。

彼らは日本に来て、ＧＤＰ世界第二位の国が、電信柱で電線を張り巡らし送電、送信している日本人の街作りと、都市景観への無関心さに驚き、その美的感覚を疑っていると思う。

狭い歩道の真中に電柱があり、自転車は降りないと通れない、勿論、車椅子は通れない。また、火災時に、はしご車が電線の邪魔で遅れ、被害を大きくした事もある。更に、大地震の時には、電柱が倒れ、電線が切れて、火を噴く心配もある。

美観、防災、福祉、安全、等の面からも、電柱を無くし地中化すべきである。

最近、ニューメデア網の建設で地下埋設工事は増えているが、まだ今、日本に電柱は、電力９社と NTT と合せて約３０００万本あると言われてる。４人に１本の電柱だ。

これは、主としてコストから来た問題である。架空線と地中線では、コストが１０～２０倍も違うとの事。電柱１本の工事費が約百万とすると、地下埋設は１千万～２千万かかるようだ。

東京都区内にある現在の架空線と、将来２０年間にわたって建設するはずの電線を全部地中に埋めると、２０兆円必要との試算がある。

然し我々は、美観、防災、福祉、安全のために、今から計画的に、無駄な高速道路、新幹線の建設工事などをせずに、電柱の地中化を目指すべきと思う。

原稿募集　薄謝進呈します

囲碁に偏らず、日常の出来事、ハイキング、旅行、ドライヴ、読書、音楽、短歌、俳句など・・・政治、宗教以外のことならなんでも OK です。また、同好会員のご家族からでも結構ですのでお待ちしております。匿名での掲載希望は、その旨お書きください。掲載させていただいた原稿については、薄謝を進呈します。

原稿送付先　　広報担当：三浦和夫　住所 193-0813 四谷町７３１－６　電話 624-5429
メールアドレス　kz513miura@ybb.ne.jp

エジプト・トルコ旅行記

由井寿囲碁同好会　大 藪 成 人

２００６年6月２８日～7月１０日迄の１３日間、エジプト・トルコを夫婦で旅行した。私は前から紀元前に作られたピラミッドや、最近テレビでよく放映されるトルコのカッパドキア、二つの国に共通するイスラム教の世界を見たいと夢見ていた。

（エジプト）

成田からソウル、北京、ゴビ砂漠、カスピ海、トルコ、地中海の上空を通ってエジプトのカイロ迄約１４時間３０分である。飛行機はエジプト航空で途中２回の食事が出た。エジプト料理で香辛料が強く油こく、日本人好みではない。

ギザの三大ピラミッド

カイロ空港は砂漠の中にあり敷地は広いが税関などの建物はそれほど大きくなかった。到着して２４時頃のカイロ市をバスでホテル迄通ったが車は多く、道路は人で一杯であった。昼は暑いので人は夜に活動するそうである。

日本と違うのは信号機がないことである。交通量は東京の都心と同じ位多い。自動車どうし、ぶつかることが多い為か車体は日本では考えられない位へこんだりしている。この信号のない道路を車はかなりスピードを出しているが人は平気で渡る。子供の頃から慣れている為か交通事故は少なくて日本と同じ位とのことである。

お金は空港で両替したが大きな金額の紙幣で交換してくれる。小さい金額の紙幣はホテルの近くにある銀行で交換した。この小さい金額の紙幣は油で煮しめたように汚くて手で触るのもいやになる位のものである。日本のように紙幣の交換が良くなされていない国では良くあることである。３０年前に１ケ月間出張で滞在したペルーも同じだった。

トイレは洋式で水洗である。使用するごとに１ポンド（日本円で２０円位）の紙幣を渡す。入口に必ず人がいる。トイレットペーパーは日本と同じである。これを流すと詰まるので便器の横に置いてある籠に入れることになる。

枕チップは１米ドル又は５ポンド位である。ホテルは比較的綺麗な所であった。食事もヨーロッパと同じくハム等の肉類、卵類、果物、ジュース（みかん等）、パン等があり、ホッとしたものである。街の中のレストランで食べる食事はスープ（香辛料がきいている）、油っこいチャーハンと、かたい焼肉に似たものが多い。水道水は良く出るが飲めない。ペットボトルの水を必ず飲むようにした。歯磨もペットボトルの水を流用した。

エジプトの面積は日本の約２．７倍で７、１００万人位である。首都カイロは北緯３０度で日本の鹿児島県の屋久島とほぼ同じである。カイロの人口は１、５００万人位で大都会である。エジプトと言えばピラミッドとナイル川である。

カイロ市の隣りのギザ市にギザの三大ピラミッドがある。カイロ市とギザ市は一つの市と考えても良い位である。このギザの三大ピラミッドとスフィンクスは有名であるが紀元前２５００年頃に出来たものである。積み上げた石は大きくて、この時代によくも出来たものと思う。ナイル川の近くに砂漠があり、この砂漠の中にピラミッドはある。ピラミッドから西の方は見渡す限り砂漠である。この三大ピラミッドはピラミッド通りに面しておりバスから良くみえた。最近このピラミッドの近くには住宅が押し寄せてきており、コンサートを開く場所も出来つつあった。エジプトの大統領が各国の首脳を歓迎する建物も近くにあった。ギザの三大ピラミッドが出来たよりも以前に出来たサッカラの階段ピラミッドも見たが見事であった。

カイロのオールドカイロ観光ではキリスト教徒がイスラム教徒に迫害を受けた場所と教会がある。ナイル川が土砂の堆積で段々上に上がって行き、その為教会は現在のナイル川より下の方にあり、地下にある教会に興味を持った。

カイロの考古学博物館は２階建ての建物で王様のミイラ等もあり、ツタンカーメン等は素晴らしいものである。狭いので新しい建物が出来るとのことである。

カイロ駅には機関銃を持った兵士がいた。隣りの国のイスラエルでは戦争を行っており、そのため取締りはきびしい。私たちのバスにも一人の私服警官が乗り込み、護衛してくれた。カイロ駅からアレキサンドリア迄列車で行ったが３時間かかった。２２０ｋｍの距離である。車窓から眺めた景色はカイロ近くではオリーブ、トウモロコシ、桃などの果物が多かったがアレキサンドリア近くになり、米を作っており子供の頃の日本の農村の風景に似ていた。堀があり、魚を釣っているのが見られた。線路の近くはゴミが一杯で汚かった。帰国してから数日後に列車事故があったがこれにあわなくて良かった。

アレキサンドリアは地中海に面しており、古代ローマ時代の遺跡が沢山あり、海から吹いて来る風が涼しくて気持ち良かった。海岸に面した街はヨーロッパ風で窓の植木鉢には奇麗な花が植えられていた。

（トルコ）

カイロからトルコのイスタンブール迄、空路約２時間３０分である。カイロの空港からイスタンブールの空港に着いて感じたことは緑の多い木々があることである。空港はイスタンブールのヨーロッパ側にあり、雨の降らないカイロに比べて何となく、しっとりとした感じでホッとしたものである。

イスタンブールはボスボラス海峡を挟んでヨーロッパ側とアジア側に別れており、ヨーロッパ側は有名な宮殿や市街地があり、アジア側は住宅地である。ボスボラス海峡には２つの大きな橋がかかっているが普通は船でアジア側からヨーロッパ側に通勤するとのことであった。イスタンブールは前から見たい都市であったが奇麗な都市で特に船から見たブルーモスク、トプカプ宮殿は奇麗だった。

トルコ料理は世界三大料理の一つに数えられる位で日本人に良くあっていると思う。オリーブ油が良く使われている。菓子類は蜂蜜が沢山使われており、甘いが美味しいものが多かった。

イスタンブールからトロイの遺跡迄バスで行ったがバスから見た景色は向日葵畑や麦畑、じゃがいも畑、オリーブ畑で先が見えない位の広い畑があった。日本では見られない広さである。トロイの遺跡は世界遺産になっており、これから発掘が行われるとのことであり、トロイの木馬が門の所にある位で、これからの所である。

次に行った所はエフェソスで古代ローマ帝国の遺跡である。円形劇場、大理石通り、アルテミス神殿など今から２、０００年前に既にこの地では文明があったのかと感心させられた。発掘は規模が大きいので今も行われているが、これから先、数年行われると感じた。このエフェソス遺

跡の近くには聖母マリアの家もあった。小さな石造りの家であるがキリスト教の人は一度はたずねて見たい所だと思った。森の中の閑静な所にあった。

次の観光は最近ＮＨＫの世界遺産で放映された石灰棚の奇観パムッカレーである。近くにはローマ時代の遺跡ヒエラポリスがある。温泉があり、ローマ時代の保養地と考えられる。まだ発掘が行われている。

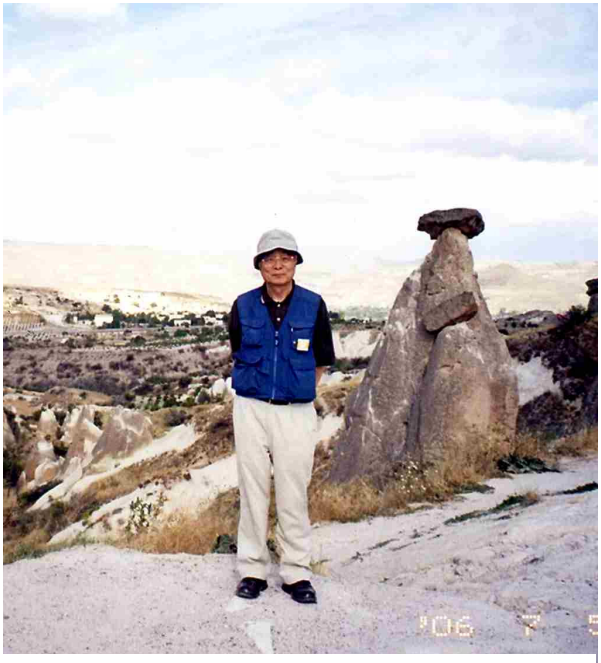
最近バスが横転し、日本の観光客に死者などが出たコンヤではイスラム教のメブラーナ博物館を見た。コンヤは３００万位の都市で大きなスーパーもあり記念にシャツを買った。孫にも買ったが日本より少し安い位である。交通状況はカイロほどではないが信号が少なく、人々は道路を信号がないまま渡っている。

コンヤからカッパドキアに行く途中シルクロードの隊商達が泊まった隊商宿を見学した。山賊などが出てきたそうでいたる所に隊商宿があったそうである。

カッパドキアは世界遺産であるが奇岩、洞窟が沢山あり驚かされる。近くに富士山に似た３３００ｍクラスの山が噴火して溶岩や火山灰が積もって出来たとのことである。比較的人の手で掘りやすい為に、この地に住むようになったとのことである。キリスト教の人達がイスラム教の人に迫害を受け隠れたのもこの洞窟である。カッパドキアは１５００ｍ位の所にあり、私達が泊まったホテルも涼しい為クーラーはなかった。

カッパドキアからトルコの首都（人口３００万人位）アンカラへ行く途中、日本の琵琶湖より大きい塩湖を見学した。始めて見る塩湖は遠くまで塩で、近くには製塩工場もあった。アンカラからイスタンブール迄は１等寝台に乗った。

トルコは日本の約２倍の面積で約７、３００万人の人口であり、大都市のイスタンブールは北緯４１度青森県とほぼ同じで約１、３００万人である。イスタンブールからアンカラまで２、４００ｋｍのバス旅行（東京ー博多往復位の距離）をして感じたのは豊かな農業国であると思った。



カッパドキア

エジプト・トルコに共通しているイスラム教のモスクの中はメッカにむかっての祈りの場所がある位で非常に簡素である。キリスト教会は絵や彫刻などがあり非常に綺麗なのに比べ、なにも無かった。街の中心にあるホテルに泊まったが朝の５時少し前にイスラム教のこれからお祈りをしましょうという大きな呼び声がマイクから流れて、思わず目を覚ました。女性は頭にスカーフをかぶっている人が多い。イスタンブールでは少なかった。両国の平均寿命は６５才とのことである。

２月の理事会報告

１７日に開かれました。主な事項は次のとおりです。

１　平成１９年度地区団体対抗囲碁会の対戦方法

対戦数５回のところ、出場チーム１１中会員数の少ない同好会（石川、中野、由木、長房、元八王子）は、４回出場とする。順位は勝率で決める。

会員数が少ない石川と中野をまとめて１チームとすることは、当事者が希望しないので行わない。

２　活きいき大会における非会員の参加費の改定について

会員７００円に対して、非会員は８００円とする。現行どおりいずれも７００円として行う同好会については、碁楽連の負担金を１，０００円とする。ただし、４月実施の淺川大会については、前年どおり公表済みのため適用しない。

３　碁楽連大会等の日程

碁楽連大会　３段以上　　10 月 14 日　　同　２段以下 12 月　9 日
棋聖大賞大会　　1 月 20 日　　タイトル大会　2 月 17 日
いずれも日曜日

４　碁楽連規約（囲碁連盟との合併に伴う事項）および段級位規程（研修部における昇格および名誉昇格に関する事項）の一部改正並びに高齢会員表彰規程の制定については、原案通り総会に付議することを決定した。

５　碁楽連広報ソフト（会報バックナンバーの保存と利用方法の改善を含む）を作成した旨渡辺理事から報告があった。

会報（創刊号～第 188 号）及び検索ファイルを収録した CD-R

６　平成 19 年度定例総会資料について

（１）　平成 18 年度事業報告と決算
（２）　平成 19 年度予算
（３）　平成 19 年度事業予定（活きいき大会、地区団体対抗、碁楽連大会、市民囲碁大会、棋聖大賞大会、タイトル大会）

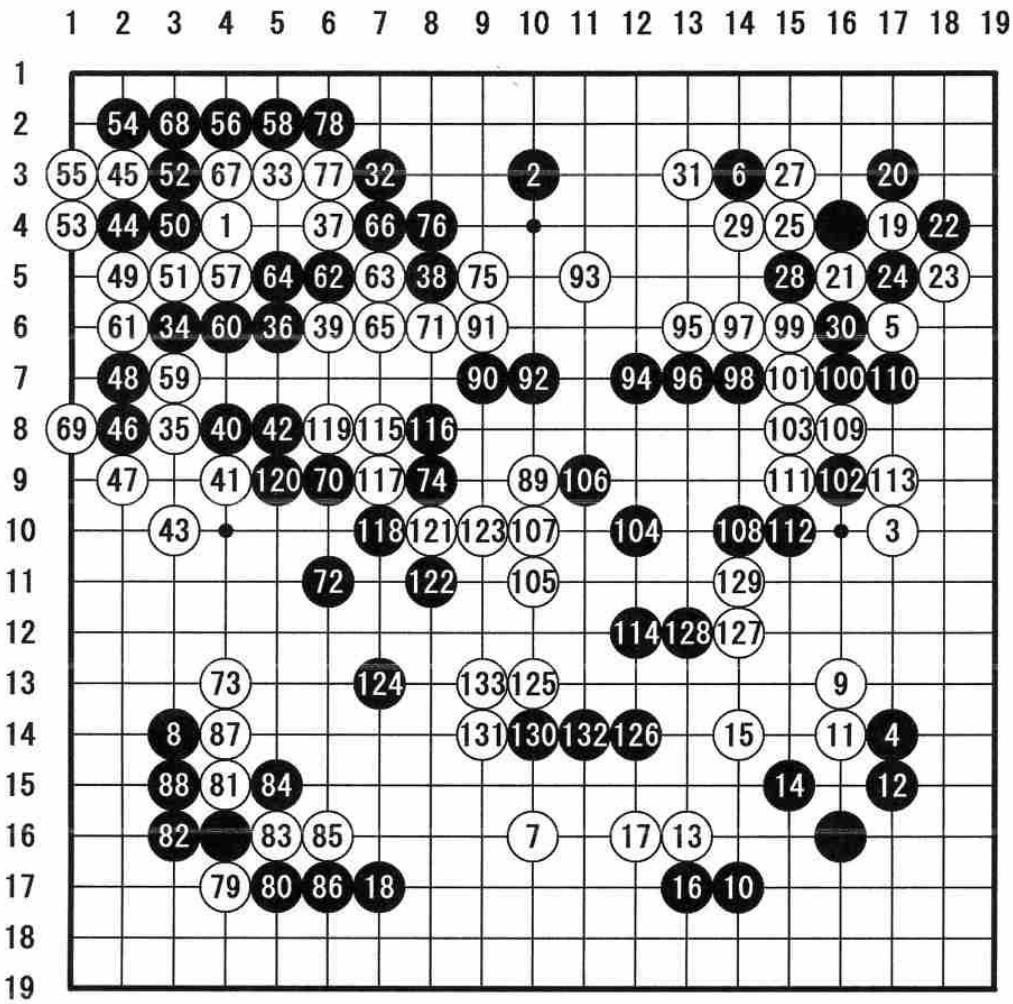
以上各項について、３月理事会で決定することとした。

７　平成 19 年度役員（案）について

新役員　中野同好会　磯部信広氏
大和田同好会　石田利雄氏
石川同好会　勝山恭男氏　　（規約第７条第２項により選任）
会　長　真辺保幸氏　（留任理事　望月成一氏　　同　三浦和夫氏）
として総会に付議する。

退任役員　会　長　竹島正義氏　　理事　山崎修司氏　　同　刀根正樹氏
同　渡辺己三男氏（規約第７条第１項）

第１４回碁楽連 タイトル囲碁大会 八王子名人決勝戦　　部分譜(1-133)
対局日：2007/02/18　　結果：その他
黒番：中村順二 ３段/石川　　白番：吉田征也 ６段/元八王子



26 [19]

編集後記　前任の渡辺さんにいろいろとご指導いただきながら、悪戦・苦闘の末、ようやく纏まったのが本号です。まだ、自信はありませんし、渡辺さんには及びませんが、より良い会報を作っていきたいとおもっておりますので、よろしくお願いいたします。（　広報担当：三浦　）